芙蓉会社内報　平成29年12月号

やすらぎ

医療法人社団 芙蓉会
ふよう病院
千葉芙蓉病院
きゃらの樹ケアセンター

理事長挨拶

医療法人社団　芙蓉会　理事長　四ケ所　大

今年も色々な出来事がありました。最近では、大相撲の暴力事件が発生しました。そもそも大相撲は、スポーツであるという一面と、国技と定義されているとおり日本の文化という一面を持ち合わせています。しかし昨今の外国人力士の台頭により文化が少しずつ崩れてしまっているという感覚も拭えません。最終的にどのような、終結を迎えるかは解りませんが、国民に夢と希望を与えるスポーツ界の騎手として温故知新でがんばって欲しいと思います。

さて法人としては、今年のスローガンとして三方良しの精神を見習い「ご利用者良し、事業者良し、世間良し」で取り組んで参りました。東京都町田市のふよう病院では、11 月 1 日から C1 病棟において介護療養病床から医療療養病床への転換が実現し、千葉県君津市の千葉芙蓉病院においても、年明けから医療療養病床転換を予定しております。4 月に研修会を開催した際に、「失敗を恐れて何もしないことが一番愚かな策である。仮に挑戦して失敗したとしても次のステップには役立つ。」と宣言した中での今の状況に、奮闘してくれたスタッフに感謝するばかりです。

来年の 4 月には、診療報酬及び介護保険のダブル改定を迎えます。最近の情報では、マイナス改定は避けられそうでありますが、雇用環境整備という課題を一挙に解消することはできません。大相撲の外国人力士の台頭に対し否定的な意見があるのは確かですが、ここ 10 数年彼らが大相撲を支えてきたという実績は、誰もが認識しているところでしょう。この介護業界も、外国人労働者を無くして成立しない時期が迫ってきております。現場のスタッフ、ご利用者、ご家族に対して、どこまで理解をしていただけるかという不安はございますが、育成制度の充実を掲げて取り組みたいと考えております。文化の相違が存在しているとしても、お互いが理解しようと歩み寄る気持ちが一番大事ではないでしょうか。

「老人は国の宝」

医療法人社団　芙蓉会（事業所一覧）

- ふよう病院
- 芙蓉ミオ・ファミリア町田
- グループホームあおぞら
- デイサービスふれあいルーム
- 千葉芙蓉病院
- きゃらの樹ケアセンター
- 千葉芙蓉ハーモニー
- 千葉芙蓉ステーション

近況

きゃらの樹ケアセンター施設長　嶋田　裕

今年も残すところ僅かとなりました。ふり返ってみますと、私がきゃらの樹ケアセンターに勤務するようになって間もなく満 18 年、月日の経つのの早いことに驚いています。

きゃらの樹ケアセンターは介護老人保健施設（老健）です。老健とは､介護保険法によると「病状が安定している要介護者を対象に、入所者の能力に応じた自立と自宅での生活復帰を目指し、日常生活の世話や看護・医療・リハビリテーションなどのサービスを提供する施設」とされています。当施設でも、多くの方が在宅復帰に向けて、現状の ADL、QOL を高めるよう日々努めており、私達職員はそのお手伝いをさせて頂いております。

しかし、実際には在宅での介護力不足、独居生活困難、認知症の発症などの理由により在宅復帰が困難で、長期入所をされている方も居られます。生活習慣病の他に、脳梗塞後遺症･難病･癌などの病気をかかえている方も多くなりました。入所者の高齢化は顕著で､センテナリアン(百寿者）の入所も稀ではありません。近時、医療機関での入院期間は短縮傾向にあり、まだ不安定な状態での入所となるため、入所後、通院を余儀なくされる場合があります。大腿骨骨折、肺炎、脳心血管障害や持病の悪化などで、治療のために退所する方も見られます。

この 18 年間に、老健でも医療の進歩による多くの恩恵を受けています。特に、生活習慣病を含む多くの疾患の診療ガイドラインの制定は、

医療に良い指針を与えています。多くの新薬の登場もあります。とりわけ印象に残るのは、降圧剤のアンジオテンシン II 受容体拮抗薬（ARB)、糖尿病治療の DPP-4 阻害薬、さらには疥癬虫駆除薬のイベルメクチン（この薬の発見により大村智博士はノーベル生理学・医学賞を受賞した）などです。さらに、多くのジェネリック医薬品の使用が可能になったことは、医薬品費の削減になります。

当施設は房総半島南の丘陵地帯で緑豊かな自然環境の中に位置しています。現在では近辺地域からの利用者が大多数ですが、このような良好な環境の中で、生活機能の向上を目指したい方の、より広い地域からご利用をお待ちしています。

優良防火対象物に関する表彰状授与

東京消防庁　町田消防署長　消防監　水野晋一様　来院

今般、ふよう病院の建物において、10 年連続優良防火対象物認定を受けていることから 11 月 10 日、東京消防庁　町田消防署長より表彰状を授与されました。

当院といたしましては、ご入院患者様はもちろん、施設内をご利用いただく方々にも安全安心してご利用いただけるために継続してきたものであり、今後も防火安全の維持向上に努めていきたいと思います。

また町田消防署は、平成 29 年 11 月 21 日（火）より新庁舎へ移転されたとのこと、今後ますますのご活躍を期待しております。

ノロ対策実践研修を実施

12 月 11 日、看護部勉強会では、ノロウイルス罹患者発生時の対策として現場職員を対象とした実践研修を行い、二次感染防止マニュアルの徹底を図りました。

処理者への感染を防ぐ装備と処理後の脱ぎ方、消毒薬の作り方、汚物の飛沫を防ぐ処理方法と処理物の廃棄方法などを、細かいマニュアルを説明後、グループに別れて皆が同じ処理をできるよう練習し。さらに処理セットを各部署へ配布しました。

院内職員研修会報告「高齢者虐待」
29 年 11 月開催　発表者　松嶋看護部長

＜内容＞
①養介護施設従事者等による高齢者虐待のとらえ方
　＊高齢者虐待法の目的
　＊身体拘束との関係
②DVD 視聴

＜まとめ＞
高齢者虐待法とは、高齢者の尊厳の保持、権利利益の擁護が目的で虐待者を罰するためのものではない。高齢者虐待とは、個人の問題ではなく組織の問題として考えなければならない。

院内職員研修会報告「ターミナルケアについて
29 年 12 月開催　発表者　佐藤院長

＜内容＞
①典型なる死の恐れ
②望ましい死の必須条件
③新聞記事について
④日野原先生の書籍から抜粋
⑤DVD 視聴「悔いのない看取り～心にふれる死生学」

＜まとめ＞
日頃から死について考えておき延命治療に関する事など自分の希望を家族に伝えておく。

29年10月、11月院内職員研修会報告「インフルエンザについて」

10月、11月の２回にわたり行いました。
インフルエンザウィルスに感染すると、全身の倦怠感や発熱・関節痛が起こりやすいです。年少者や慢性疾患のある方や高齢者は、感染発症すると、重症化しやすいので、注意が必要です。予防接種も効果があります。千葉芙蓉病院の患者様も上記のようにリスクが高いので、予防接種をお勧めしています。
職員もまた、自身の健康管理をするとともに家族の健康にも注意し、インフルエンザウィルスを病院内に持ち込まないように指導しています。
流行がピークの時は、ご家族等の面会を控えていただき、外部からのウィルスの侵入を防ぐよう努めています。

千葉芙蓉病院　イベント報告

クリスマス会

12月22日、各病棟にて実施しました。
ボランティアの方がおいで下さり、手品や歌を披露して下さいました。患者様も、一緒に声を合わせたり、手拍子したりと楽しい時間を過ごしました。

きゃらの樹ケアセンター　イベント報告

松丘中学校による交流会

12 月 5 日 3 階フロアに於いて生徒 8 名による交流会が行われました。
生徒さん達の元気な大きな声での自己紹介から始まりました。利用者様は目を細め時に笑い声も交じりながら一人一人に拍手をされていました。

生徒さんが考えてこられた風船バレーや魚釣りのゲームで大いに盛り上がり、続いてソーラン節の踊りを披露。エネルギッシュな踊りで利用者様や職員はパワーをいただきました。最後は季節がら選ばれた数曲、全員で合唱し、終了となりました。

≪追記≫
12 月 22 日、松丘中学校を代表し、生徒 2 名、先生 1 名が来所され入所者様へクリスマスカードを持ってきてくださいました、ありがとうございました。

医療法人社団芙蓉会　きゃらの樹ケアセンター
見学随時受付中
〒292-0503　千葉県君津市広岡 375－3
TEL　0439-50-7333　FAX　0439-50-7399